



ひがしいず

議会だより

No,284

平成28年

7月号



再び大空へ 事故を乗り越え単独フライト
～フライトハウス校長 鈴木信幸さん～

— 目 次 —

● 6月議会定例会……………2

● 8名の議員が一般質問……………3

● 4月臨時議会・議会の活動……………10

発行 東伊豆町議会
編集 東伊豆町議会広報編集委員会
責任者 議長 村木 脩
静岡県賀茂郡東伊豆町稲取3354
〒413-0411 TEL.FAX 0557-95-6307
年4回発行 4月・7月・10月・1月

第2回定例会 8人の議員が一般質問

定例会で審議された議案

専決処分の承認

○平成28年度一般会計補正予算(第2号)
参議院議員選挙の立会人・事務従事者の報酬や、投票箱・記載台の購入費用、155万5千円を増額補正。

取の市民農園に滞在型施設(ラウベ)7棟とその付帯施設を整備。

補正予算

○平成28年度一般会計補正予算(第3号)
総額903万4千円を増額補正。

ふるさと納税寄付金の増収5千万円、新婚世帯のスタートアップ支援補助金180万円、農業者への支援として産地パワーアップ事業費補助金3112万9千円など。

条例の改正

○東伊豆町特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
空家等対策協議会を新たに設置し、協議会の委員に支払う報酬月額5千5百円を条例で規定。

工事の契約

○滞在型市民農園整備工事請負契約の締結
9061万2千円で株式会社竹内組と契約。稲

同意案(人事)

○固定資産評価審査委員会委員の選任
審査委員に、太田正一氏(奈良本)を選任した。
○教育委員会委員の任命
現職の竹内明美委員

選挙

○静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙
推薦
○人権擁護委員候補者の推薦
現在の委員が任期満了になるため、新たに外岡恵美子氏(稲取)を推薦した。

諮問(人事)

(稲取)が7月3日に任期満了のため、引き続き竹内氏を教育委員会委員に任命した。

陳情・要望書

○所得税法第56条の廃止を求める意見書提出を求める陳情
担当常任委員会の総務経済常任委員会に付託して内容を審議した結果は「不採択」。その結果を受け、本会議の審議においても不採択となった。

表紙の写真

フライトハウスの校長 鈴木信幸さんは、平成26年8月に着陸寸前に突風に見回れ、地上に激しく打ち付けられました。脊椎の損傷、肋骨骨折など寝たきりになるのかと心配されましたが、病院でのリハビリと自宅に戻ってからも工夫を重ねたりハビリに取り組みました。手足にマヒが残り立つこともできないことから、道具にも緩衝材や取手の取り付け、着陸時に滑走可能となる走行プレートの装着など改良を重ね障害が残っていないなかで、単独フライトを6月12日に成功させました。

町長に聞きました (定例会一般質問)

— 飯田桂司 議員 —
▽町長の政治姿勢

— 鈴木 勉 議員 —
▽アスト会館
▽高齢者福祉
▽通学路の交通安全対策

— 笠井政明 議員 —
▽夏季アスト会館プール使用
▽東伊豆町内学校統合
▽データの利活用

— 西塚孝男 議員 —
▽町の経済
▽小中学校の制服

— 藤井廣明 議員 —
▽アスト会館の売却

— 内山慎一 議員 —
▽築城石の石丁場の整備

— 稲葉義仁 議員 —
▽観光客の安全対策
▽私設街路灯補助

— 山田直志 議員 —
▽火災におけるサイレン
▽地域コミュニティーの強化充実
▽子供の貧困等



町内道路の整備計画は

答 伊東市池地区へつながる道路を要望



飯田桂司議員

▽町長の政治姿勢

問 平成28年度の町内道路の整備計画は、町長 県関係では、農道

整備、歩道の改良工事、町道湯ヶ岡赤川線のパイパス工事を実施。町関係では、町道稲取片瀬線で舗装の改良工事、国道135号に架かる町道小橋熱川線の熱川橋の落橋防止対策工事、町道湯ノ沢草崎線大川地区草崎地内の老朽化した法面の補強対策工事を実施していく。

問 国道、町道等へつながる伊豆縦貫道へアクセスするための道路整備は、町長 東伊豆町では伊豆縦貫道へ直接アクセスできる管内道路は無い。伊東市や伊豆市と伊豆横断道路建設促進期成同盟会を結成しており、そのなかで大川地区から伊東市池地区へ直接アクセスする道路を要望し、東伊豆町からスムーズに伊豆市の天城湯ヶ島インターチェンジにつながる道路を国・県に要望している。



建設中の伊豆縦貫道(天城北道路)天城湯ヶ島インターチェンジ付近

アスト売却後はどうなるのか

答 健康づくり教室は継続する



鈴木 勉議員

町長 購入希望者は、情報（IT）専門学校等の設立を計画している。町の活性化を推進するためにも、売却を前提に交渉を進めたい。

▽アスト会館

問 アスト会館は健康づくりの拠点として年間延べ3300人の方が利用している。売却後はどうなるのか。

町長 アスト会館の健康づくり教室は継続する。また多くの町民が利用している町内各施設に機具等の充実を図りたい。

問 多くの町民が町の発展を期待しているが、その経済効果は。
町長 町内業者施工の改装工事や400人からの学生が入学してくる。地元からの食料品、物品の購入、町内での飲食や買い物、アパート住まい等計り知れない。また、若い人達の出会いなど経済効果が期待できる。
問 事業計画、資金計画はどうか。
町長 民間人による検討委員を立ちあげ、売却価格も含め調査検討してもらい、その結果を元に交渉する。
問 町民や議会への報告は。
町長 交渉が進み売却価格が設定されたら、広く皆様に意見を求める。

▽高齢者福祉

問 一人暮らしや老々世帯の安否確認や見守り対策は。
町長 配食サービス事業、通報システムの設置、見守りネットワーク等、地域全体で支え合いの体制を構築している。

問 自治会未加入者への刊行物の配布は。
町長 役場、駅、銀行、郵便局に備えてある。またハイキャットやケーブルテレビで情報を発信している。

問 青森県のある市で

は、協力事業者と連携し、毎日のように無料で刊行物を手渡し、安否確認を行っているようだが。
町長 町も高齢化が進んでいる。高齢者には今までにない見守り事業で、早急に調査検討し対応したい。

▽通学路の交通安全対策

問 稲取小学校横の急坂に、歩道が必要ではないか。
町長 危険箇所として認識している。歩行者への安全対策として、カラー舗装やスクールゾーン表示をしている。

問 車の通行量が多い箇所である。児童等の歩行者の安全対策は今のままで充分か検討してもらいたい。
町長 国道との立体交差による制約があり、改良は難しいが、PTAや地元からの要望があれば検討していく。



入谷から下る稲取小学校横の道路
路側帯とカラー舗装で歩行者の安全を確保

海浜プール閉鎖に伴う代替案は

答 アスト会館のプールを開放する



笠井政明議員

してもらう。6月と7月の毎週火曜日、計6回行う。
問 城東地区の子供たちの送迎対応はどのようになっているか。
町長 週1回、白田の保健福祉センター前からの発着で運行を予定している。

▽夏季アスト会館 プール使用

問 大川と白田のプール休止に伴う代替案としてアスト会館のプールを利用させるとのことだが、今年度の予定は。
町長 アスト会館のプールを夏休み期間中、週一回水曜日の午後に開放する。料金は無料。大川小学校の水泳授業については、マイクrobasで熱川小プールまで送迎し利用

問 大川、北川、奈良本地区からの運行は。
町長 地区から要望があれば検討する。
問 本年度から初めて取り組むことなので、ぜひ行っていただきたい。
町長 海岸プールを休止した大川と白田を重点に置いて前向きに検討する。

▽東伊豆町内学校統合

問 大川小学校の統合について、進捗状況と今後の予定は。
教育長 保護者説明会を3回と地区説明会を2回行い、アンケートや意見などを加味し、学校環境整備委員会で協議・検討を進めている。

問 東伊豆町の子供達への教育における中長期ビジョンは。
教育長 熱川の小中学校は平成31年、稲取の小中学校でも平成38年に全学年一クラスになる見込み。学校教育環境整備委員会でも検討・答申をいただき、教育委員会で具体的に進めるため中長期ビジョンを決定する。

問 十年後を見据えて東伊豆町内の学校の存続、統合等のスケジュールを

立てて、何パターンか作り進めてはどうか。
教育長 委員会での検討、答申をもとに進めていく。時間の問題もあるので、早めに取り組みたい。

▽データの利活用

問 ふるさと納税における寄付者のデータ活用は、どのように考えているか。
町長 寄付者に対する新たな記念品のパンフレット送付、年賀状の発送等を考えているが、現在寄付者からデータ活用の同意を受けていないので、本年度はデータ活用の同意を受ける方向で検討。

問 観光協会等で発行している情報紙も送付してはどうか。
町長 データ活用への同意を得た方に対して、定期的に発送できるよう検討していく。

問 ICT地域マネージャー派遣事業の検討はどうか。
町長 ICT地域マネージャーは、システム活用として効率的・効果的な事業を運営する地域に對して、一定期間にわたって派遣する事業である。当町が導入できるか本年度検討を重ねていく。
問 電子化等になっていく流れの中で、専門的な人材を導入することにより、より良いアドバイスを町がもらえると考えるか。
町長 導入しても良いと考えているので、本年度検討を重ね導入に向け前向きに検討していく。

町の経済について

答 極力町内業者に発注している



西塚孝男議員

▽町の経済

問 東伊豆町の平均所得は、また役場職員の平均所得は。

町長 単純に比較はできないが、所得割が発生する方の町の平均には、パートや年金受給者、株式譲渡所得割や先物取引にかかると雑所得だけの方も含まれていて、約226万円。高齢者率が高い自治体ほど平均所得が低くなる傾向がある。役場職員の平均所得は約38

0万円。職員給与の詳細は、広報ひがしいず5月号に掲載されている。
問 町の経済をどう考えているか。

町長 法令等を順守した中で、極力町内事業者に発注をしている。また、ふるさと納税制度を活用して当町の特産品等の情報を全国に発信し、町内産業の活性化を図っていき

▽小中学校の制服

問 小中学校の制服は、どのようなになっているか。
教育長 小学校では熱川・稲取の二校では、制服ではなく、「協定服」と

呼んでいるが、学校が指定しているものではなく、PTAの協議により決定し、採用されている。中学校では、熱川・稲取二校とも制服が指定されている。
問 協定服を一つに統一することで、服の単価を抑えることはできないか。

教育長 PTAと学校との間で検討したい。
問 制服のリサイクルは行われているか。

教育長 小学校では、PTAにおいてリユース活動が行われている。中学校では個人的なつながりの中で交換されている。
問 個人同士に任せるのではなく、どこかの事業所にお願ひすることはできないか。
教育長 方法も含めリサイクルのあり方をPTAとの間で検討したい。

町の希望する売却価格は

答 価格は設定していない



藤井廣明議員

▽アスト会館の売却

問 アスト会館の利用人数は。

町長 平成27年度は、本館1474人、プールと体育館1万2674人、計1万4148人である。
問 町側が希望する売却価格は。

町長 町にとって、有益な事業内容や活用方法が最優先にしたいと考えているので、希望金額は設定していない。

問 相手方は3千万円と購入希望価格を出しているのに、町が希望価格を出さなければ交渉が進まないのではないか。前の「秋葉大学院大学」の時には、町は3億円を希望し、交渉で1億5千万円となった経緯があるが。

町長 秋葉大学院の時は、建設したい施設があり売却金額を出したが、今回は設けていない。
問 購入希望者は誰か。
町長 学校法人須磨学園の西和彦氏であり、学園名義で購入することである。

問 専門学校ができるのであれば、メリット・デメリットは。
町長 学校法人が所有する
(次ページへ続く)



絶景を誇るアスト会館 面積は19,500坪

石丁場の整備保存の考えは

答 貴重な文化財であるので検討する



内山慎一議員

▽築城石の石丁場の整備

問 稲取志津摩の徳造丸本社奥にある「本林の石丁場」の整備保存を考えているか。
町長 NPO法人より、歴史的遺跡として広く紹介したい旨調査をした。どの要望があった。町は、歴史的、文化的価値を有するものであれば、活用されることを願う旨の回答をした。

問 国指定の文化財登録



稲取の志津摩海岸にある「本林の石丁場」から切り出された石

をするには、学芸員や著名な専門家の調査が不可欠。国・県補助事業での整備計画を考えられないか。
町長 石丁場は当町の貴重な文化財であるので、

検討する。
問 石丁場を学校教育、観光的な視点から活かす方策を考えているか。
町長 教育面では、ふるさと学級や生涯学習講座、毎年発行する「わがふるさと」などで紹介するなど活用している。また、観光面では、稲取駅前の「江戸城築城石ふるさと広場」や熱川温泉の「石曳き道灌祭り」で築城石を誘客対策に活用している。

海浜プールの整備・修繕の状況は

答 来場者の安全を第一に必要な整備を行う



稲葉義仁議員

▽観光客の安全対策

問 海浜プールの整備・修繕に対する町の考え方は。

町長 当該年度の営業終了後に委託する設計業務に基づき、次年度に予算計上をしている。予算は安全面や管理運営に配慮しながらも、必要最小限に抑制している。

町長 必要最小限の修繕では手がまわらない部分があるのも事実。熱川のプールでは、入口階段部分の手すり設置や日よけの増設等が、来場客の安全や健康管理から必要と思うが。

町長 来場客の安全確保が最優先と考える。現地を確認の上、必要な対応を検討したい。

問 特に危険な崖そばの駐車・BQ等への対応を含め、具体的な対策は。

町長 道路上に5ヶ所告知看板を設置しているが、その他に必要な対策は現地を確認しながら検討したい。

▽私設街路灯補助

問 私設街路灯補助金を受けている団体の数と補助額および補助率について伺う。

町長 平成27年度は22団体、補助金は予算総額を各団体の電気料金に応じて案分している。補助率は18・6%。

問 ここ数年の電気料金の上昇は極端である。補助額の見直しを検討することはできないか。

町長 私設街路灯の維持はあくまで当該団体が行うのが原則であり、現状の予算水準を見直すつもりはない。



国道135号線の熱川大橋 車道は確保されているが歩道は無い

町長 町でも危険性を認識しており、国道を管理する下田土木事務所要望している。具体策の提示はまだ無いが、引き続き協議していきたい。

問 具体的な歩道の整備が望ましいが、費用的・時間的な問題がある。

町長 現実には歩行者がおり、その歩行を抑制するのも困難である。早急な対応策の実現に向けた協議を引き続きお願いしたい。

子供の貧困対策は

答 子育て支援を重点に貧困解消を図る



山田直志議員

▽火災におけるサイレン

問 サイレンを使用していない近隣市町の数は。

町長 駿東伊豆消防組合と下田消防組合管内で、サイレンを使用していない市町は12市町中8市町。

町長 第一出動から全分団出動まで現場からの報告により指令センターからメールで指示する。

町長 延焼の恐れがある場合は、様々な条件を考えるとサイレンを活用すべきではないか。

町長 1年間は様子を見る。その間に改善すべき点があれば改善していく。

▽地域コミュニティの強化充実

問 行政による公助には限界もあり、地域の支援

町長 防災委員は区で委員などの配置の考えは。

町長 地域コミュニティは、日々の住民生活に密着した活動主体だと考えている。ただ近年、加入世帯の減少、少子高齢化や独居世帯の増加などで地域行事の存続が厳しくなってきた。民生委員等の選出も大変苦労をかけている。

町長 町でも危険性を認識しており、国道を管理する下田土木事務所要望している。具体策の提示はまだ無いが、引き続き協議していきたい。

▽子供の貧困等

問 子育て世代の就労環境の悪化、ひとり親家庭の増加など、子供の子育て環境の悪化が進み、子供の貧困化が懸念される。県では「こども貧困対策計画」を策定したが、町の状況は。

町長 県では貧困率の数値が公表されていない。生活保護の子供の数と児童扶養手当受給者数は平成25年まで増加しその後減少している。

町長 町として重点をおき進める施策は。

町長 子育て支援を重点的に行っていくことで世帯収入の増加、子供の貧困解消を図っていく。

町長 17名で、全児童生徒の2%。

町長 要綱により経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒に就学援助を行っている。告知は町のHPで行っている。

町長 就学援助は年10万円から20万円程度にもなる。全国では受給者平均15・8%であるから、町の割合は全国平均と比べて非常に低い。制度の基準や告知方法について見直しが必要だ。

町長 制度の見直しも考えたい。告知方法は学校や教育委員会事務局とも話し合っていく。

議会の活動

- 4月19日 熱川温泉観光協会総会
- 21日 例月出納検査(～22日)
- 21日 市民農園開所式
- 21日 グループホームこすもす竣工式
- 21日 岡谷市施行80周年記念式典
- 26日 第1回議会臨時会
- 26日 議会全員協議会
- 5月 9日 下田警察署管内防犯協会総会
- 9日 稲取温泉観光協会総会
- 13日 郡議会事務局長会議(南伊豆)
- 15日 熱川地区町民大会
- 16日 商工会通常総会
- 18日 熱川温泉組合総会
- 18日 町民ゴルフ大会表彰式
- 20日 郡議長会総会(松崎)
- 22日 東伊豆町自衛隊協力会総会
- 23日 例月出納検査(～24日)
- 24日 町村議会議長会総会(静岡)
- 24日 駿東伊豆消防組合議会臨時会(沼津)
- 26日 東河環境センター議会要望(東京)
- 30日 全国議長副議長研修会(東京～31日)
- 30日 東伊豆町観光協会総会
- 6月 1日 文教厚生常任委員会(協議会)
- 1日 総務経済常任委員会(協議会)
- 3日 県地方議会議長連絡協議会(静岡)
- 3日 どんつく祭り 岡谷市議会と交流
- 7日 議会運営委員会
- 13日 農業委員会
- 15日 第2回議会定例会(～16日)
- 17日 伊豆縦貫道期成同盟会要望(東京)
- 17日 交通指導員会定期総会
- 23日 例月出納検査(～24日)
- 27日 町議会事務職員研修会(静岡)
- 27日 健康づくり推進協議会
- 29日 東河環境センター臨時議会
- 30日 郡議会事務局長会議(西伊豆)

4月26日 議会臨時会

平成28年第1回臨時会が、4月26日に開催された。

専決処分承認が3件、報告が1件、工事契約が1件、審議され、それぞれ原案のとおり可決・承認された。また、駿東伊豆消防組合議会の議員選挙が行われ、2名の議員が選ばれた。

○専決処分の承認 (3件)

- 行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の一部を改正する条例
- 東伊豆町税賦課徴収条例等の一部を改正する条例
- 東伊豆町道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例

○繰越明許費の報告

奈良本地区避難地整備工事(第2工区)の請負契約を、8208万円で高橋建設株式会社と締結。整地した旧ロイヤルホテル跡地の舗装工、芝張り工、ソーラー式LED屋外灯や防災ベンチの設置等を施工。

○工事の契約

4月1日に発足した駿東伊豆消防組合議会議員の選挙から次の2名を選挙で選出。

・飯田 桂司 議員
・山田 直志 議員

○駿東伊豆消防組合議会議員の選挙

潮騒

▼道路、町経済、安全対策など身近な課題の質問が多かった。その根底には、経済の低迷・

疲弊という共通の問題意識があるように思われる。町の経済と町民のみならず、生活の実体がどうなっているか。子細な調査や統計も必要ではないか。▼またアスト会館、学校統合、地域コミュニティなど、人口減少・高齢化による町の住民サービスや施設配置の形も課題になってきている。これからの町の将来像を町が構想を示し、町民としっかり話し合っていくことが必要になってきたことを痛感した。▼町経済の浮沈は、国の政策に大きく左右される。アベノミクスはどう評価されるのか。地方の経済は、本当に活性化しているのか。医療や介護・子育て・働き方を通じて、安心して暮らせる社会が実現できるのか。新しい国会議員に期待するところが大きい。(山田)